

京都精華大学活動報告 05

日時：平成28年5月16日（月）10:00～16:00

天気：曇後雨

気温：最高24.0℃/最低20.0℃

参加者：8名

内容：おとぎの国屋上緑化，白川生き物調査，二枚貝の分類検索及びナンバリング
内容

・まずは4立米（りゅうべい）の山砂を前回整備したおとぎの国屋上緑化エリアに運びあげる作業からはじめました。なお，山砂はトタンバケツや土のう袋に入れて運びました。



・屋上では，先週入れたバークを広げ，運び込まれてくる砂と混ぜ合わせて，土作りを進めていきました。



・ちなみに1立米は，1m x 1m x 1m（メートル）の中に収まる量なので，水ならば1000L（リットル），1t（トン）となります。

今回は緑化エリアが約4m x 7mでしたので，4立米で計算上は約14cmの厚さになるはずですが，実際に測ってみると，凸凹があったり，土が締まったりの影響もあり，およそ12cmでした。



約2時間の力仕事となりました。お疲れ様でした。夏に向けて、向日葵（ひまわり）の観覧スポット並びに種取りの準備を進めたいと思います。

・午後からは、タナゴプロジェクトで予定している白川での生き物調査の予備調査を行いました。※京都府の許可（特別採捕内特第3号）を得て実施しています。



タナゴの繁殖に欠かせない二枚貝を探し、



・その他に、カワニナやヤゴ、ヨシノボリなども観察できました。



二枚貝は園に持ち帰り、繁殖期に入っているヤリタナゴの産卵用として活用します。



なお、持ち帰った12個の二枚貝は、貝を開く器具を使って産卵の有無を確認後、ナンバリングを行い、噴水池の保管用の鉢に入れました。



イシガイ類の分類表に従い検索したところ、今回採取した二枚貝は「オトコタテボシガイ」と推定されました。

動物園にお越しの際は、整備を進めている観察スポットを活用しながら、楽しんでいただければと思います。

生き物・学び・研究センター 和田